

別	表
---	---

別表 1 機関誌・図書の刊行

(1) 冊子版「航空と文化」No.125号、126号目次

125号 (夏季号)
・宇宙ビジネスのトレンドとチャレンジ、そしてチャンス ～農業からスポーツ、金融まで～ 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授 日本航空宇宙学会宇宙ビジネス共創委員会 委員長 宇宙サービスイノベーションラボ事業協同組合 代表理事 神武 直彦 ・旅行ガイドブックの現在・過去・未来 令和的「るるぶ情報版」の使い方 株式会社JTBパブリッシング CSR推進部 小松田 淳 ◇特集 特集 エアロバティックス！ ・スポーツとしてのエアロバティック競技 一般社団法人日本女性航空協会 理事長 FAI（国際航空連盟）エアロバティック部門デリゲート 鐘尾 みや子 ・ジョナサンのいるカンヴァス 風見 星音 ・2022青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2022FAIヤングアーティストコンテスト国内予選) 日本航空協会 一般財団法人日本航空協会 令和3年度事業報告および令和4年度事業計画 日本航空協会

(敬称略)

1 2 6 号 (新春号)

- ・ 新年のご挨拶

日本航空協会 会長 篠辺 修

- ・ 民間ロケットから生まれる宇宙開発利用のイノベーション

インターステラテクノロジズ株式会社代表取締役社長

稲川 貴大

- ・ 誰もが自由な空の旅をするために パラアスリーが実践している3 つのこと

日本財団パラスポーツサポートセンター

山本 恵理

- ・ 日本初！航空会社の訓練施設見学ツアーの狙いとその全容

ANAホールディングス株式会社

広報・コーポレートブランド推進部

加藤 雄己

- ・ ヴィンテージグライダー 萩原式H-32型 JA2050 の航跡

日本航空協会航空遺産継承基金事務局

荻田 重賀

- ・ 令和4年度「空の日」 航空関係者表彰式

日本航空協会

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

タイトル	著者	冊子版掲載号	掲載日
特集 Face Up! 顔パス最新事情 ますます便利&安全になる空港や私たちの生活「地域DXで加速する新たな地域づくり ～顔認証を活用した特別なおもてなし体験～」	森重 良太	124号	5月25日
特集 Face Up! 顔パス最新事情 ますます便利&安全になる空港や私たちの生活「国際空港のイノベーション ～「セルフサービス」から「顔認証」へ～」	宮本 秀晴	124号	5月25日
特集 Face Up! 顔パス最新事情 ますます便利&安全になる空港や私たちの生活「航空・空港DXのコア技術 ～顔認証・生体認証の最新動向～」	今岡 仁 井上 岳	124号	5月25日
初めて海外から日本に飛来したイタリア人飛行士たち	柳沢 光二	123号	7月5日
イタリアに残るタイムカプセル2冊の『記念帖』	道原 聡	123号	8月3日
「日本航空一期生」を出版して	中丸 美繪	123号	8月29日
宇宙ビジネスのトレンドとチャレンジ、そしてチャンス ～農業からスポーツ、金融まで～	神武 直彦	125号	9月29日
旅行ガイドブックの現在・過去・未来 令和的「るるぶ情報版」の使い方	小松田 淳	125号	11月7日
特集 エアロバティックス! スポーツとしてのエアロバティック競技	鐘尾 みや子	125号	12月1日
特集 エアロバティックス! ジョナサンのいるカンヴァス	風見 星音	125号	1月17日
小谷式ユングマンの挑戦	小谷 修一	122号	2月16日

別表 3 競技会の実績

(1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. ハング・パラグライディング 2022スカイフェスティバルIN南陽	大門 浩二	2022. 07. 29 ～31	山形県南陽市 十分一エリア	34名
2022East Japan Championship	<u>不成立</u>	2022. 10. 07 ～10	茨城県石岡市 足尾山エリア	49名
2022ハンググライディング 紀の川スカイグランプリ	小椋 溪太	2022. 11. 03 ～06	和歌山県紀の川市 紀の川フライトパーク	51名
2022 Class V East Japan Championship	板垣 直樹	2022. 11. 18 ～20	茨城県石岡市	14名
西富士ジャパクラシック2023	総合 大陽 智仁 女子 野尻 知里	2023. 01. 07 ～09	静岡県富士宮市	36名

(2) 公認した日本選手権

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 第38回熱気球日本選手権	藤田 雄大	2022. 11. 01 ～07	佐賀県佐賀市	48機
2. 模型航空機 F1A フリーフライト・グライダー F1B フリーフライト・ゴム動力機 F1C フリーフライト・エンジン機	F1A/ <u>不成立</u> 佐藤 友伯 関澤 一雅	2022. 11. 03 ～05	千葉県旭市	— 5名 13名
F1D フリーフライト・室内機	木原 一正	2022. 07. 23 ～24	長野県松本市 やまびこドーム	9名
F2B コントロールライン・曲技	村松 督浩	2022. 10. 07 ～09	福井県南条郡 リトリートたくら	54名
F3A ラジオコントロール・曲技	音田 哲男	2022. 08. 24 ～. 08. 28	福島県須賀川市 浜尾地内多目的広場	48名
F3B ラジオコントロール・ グライダー	櫻井 尚人	2022. 05. 13 ～15	埼玉県児玉郡上里町 上里グライダークラブ 飛行場	29名
F3C ラジオコントロール・ ヘリコプター	伊藤 寛規	2022. 10. 06 ～09	千葉県木更津市 木更津ユーポート	42名
F3J ラジオコントロール・ サーマルグライダー	<u>不成立</u>	2022. 10. 14 ～16	千葉県野田市 野田スポーツ公園	—

F3K ラジオコントロール・ 手投げグライダー	西村 悠	2022. 09. 09 ～11	千葉県野田市 野田スポーツ公園	22名
F4C/H ラジオコントロール・ フライング・スケール	F4C/不成立 F4H/田村基与治	2022. 09. 24 ～25	高知県高知市 高知ラジコンクラブ 飛行場	4名 11名
F5B ラジオコントロール・ 電動グライダー	不成立	2022. 11. 05 ～06	千葉県野田市 野田スポーツ公園	—
F5J ラジオコントロール・ 電動手曳航グライダー	立田 秀世	2022. 10. 01 ～02	徳島県三好市 三野健康防災公園	36名
3. ハング・パラグライディング ハンググライディング・クラスV 日本選手権2022 in 足尾 (FAI CAT II)	総合 古坂 学俊 女子 不成立	2022. 04. 07 ～10	茨城県石岡市 足尾山エリア	15名
2022パラグライディング 日本選手権 in ASHIO (FAI CAT II)	総合 小梶 溪太 女子 平木 啓子	2022. 09. 16 ～19	栃木県石岡市 足尾山エリア	76名
2022パラグライディング・ アキュラシー日本選手権 in ASAGIRI (FAI CAT II)	総合 平野竜二 女子 山口香代	2022. 12. 03 ～04	静岡県富士宮市 朝霧高原	36名
2023パラグライディング 日本選手権 (FAI CAT II)	総合 岩崎拓夫 女子 四方 純	2023. 03. 17 ～21	和歌山県紀の川市	70名
2023ハンググライディング 日本選手権及び (FAI CAT II)	総合 田中元気 女子 櫻井さやか	2023. 03. 17 ～21	茨城県石岡市	44名
4. マイクロライト 第12回マイクロライト日本選手権 大会	舵面操縦型 滝野 浩 体重移動型 後藤 正幸	2022. 10. 08 ～10	茨城県坂東市 坂東フライングクラブ 場外離着陸場	舵面操縦型 8名 体重移動 10名
2022年度JPMAパラモーター 日本選手権/FLY & FUN in 神崎	五十嵐 亮弥	2022. 10. 01 ～02	千葉県香取郡神崎町 利根川沿い河川敷	28名

(3) 後援した競技会等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 2022熱気球ホンダ・グランプリ	総合1位 藤田 雄大			
第1戦 佐久バルーン フェスティバル2022	藤田 雄大	2022. 05. 03 ～05	長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場	39機
第2戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2022	宮田 浩樹	2022. 10. 14 ～16	岩手県一関市 一関水辺プラザ	34機
第3戦 2022佐賀インターナショナル バルーンフェスタ	藤田 雄大	2022. 11. 02 ～06	佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷	国内94機 台湾1機

第4戦 栃木県・渡良瀬バルーンレース 2022	山下 太一朗	2022. 12. 16 ～18	栃木県栃木市 藤岡渡良瀬運動公園	34機
第49回北海道バルーンフェスティ バル	榎本 美咲	2022. 08. 12 ～14	北海道上士幌町 航空公園及び周辺	40機 300名 有観客
第47回 おちや風船一揆	競技中止	2023. 02. 25 ～26	新潟県小千谷市	—
2. 滑空機（グライダー） 第25回 東京六大学対抗 グライダー競技会	個人 松本 健吾 （慶應義塾大学） 団体 慶應義塾大学	2022. 08. 29 ～09. 04	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	6校 33名
第53回全日本高等学校滑空選手権 大会	個人 梅沢 健太郎 （慶應義塾高等学校） 団体 慶應義塾高等学校	2022. 07. 29 ～31	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	17名
第62回全国七大学総合体育大会 航空の部	個人 山田 倫太郎 （東京大学） 団体 東京大学	2023. 02. 23 ～03. 02	千葉県野田市 NPO法人関宿滑空場	7校 56名
第63回全日本学生グライダー競技 大会	個人 松本 健吾 （慶應義塾大学） 団体 慶應義塾大学	2023. 03. 06 ～11	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	14校 29名

（４）選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

種 目（名 称）	選手権者名	開 催 日	場 所	参加国	日本人 成績
1. 熱気球 第24回FAI熱気球世界選手権	Stefan ZEBERLI （スイス）	2022. 09. 16 ～23	MursukaSobo ta スロベニア	31ヵ国 103機	2, 27, 28, 57
2. アエロパティックス 2022年滑空曲技飛行世界選手権	FerencTOTH （ハンガリー）	2022. 08. 11 ～ 27	Issoudun フランス	9ヵ国 17名	17位
3. グライダー 第37回滑空世界選手権大会	18mクラス ChristopheAbadie （フランス） 20m複座クラス IvanNovak/PetrKrej cirik(チェコ) オープンクラス FelipeLevin(ドイツ)	2022. 07. 23 ～08. 05	Szeged Airport ハンガリー	25ヵ国 83機	32位 37位
4. 模型航空機 2022FAI F5B World Championship	—	2022. 09. 11 ～17 開催中止	Dupnitsa ブルガリア	—	—
5. ハング・パラグライディング ハンググライディング（クラス1） 第21回ヨーロッパ選手権	AlessandroPLONER （イタリア）	2022. 07. 10 ～23	Sigillo イタリア	22ヵ国 123名	26位
パラグライディング 第5回アメリカ大陸選手権	エントリ-枠が定員を 満したため不参加	2022. 04. 08 ～16	Governador Valadares ブラジル	—	—
パラグライディング 第16回ヨーロッパ選手権	IucARMANT （フランス）	2022. 07. 25 ～08. 06	Nis セルビア	30ヵ国 133名	86位 116位

第4回パラグライディング アキュラシーアジア選手権	JirasakWITEETHAM (タイ)	2022. 06. 21 ～29	Taldykorgan カザフスタン	9カ国	42, 45, 49 51, 56, 58 59 女子7位 チーム5位
------------------------------	--------------------------	---------------------	-----------------------	-----	---

別表4 記録の公認等

(1) 記録の公認

1) FAI国際記録 (FAIより認定された記録) 該当なし

2) 日本記録 (当協会が認定した記録)

種 目	氏 名	記 録	飛行年月日・飛行場所・認定日
滑空機 自由三角コース距離 (D0 級/女性)	櫻井 玲子	878. 6km	2023. 1. 11 ヴェロニカ飛行場 (ナミビア) 2023. 3. 8
三角コース距離		770. 5km	2023. 1. 15 ヴェロニカ飛行場 (ナミビア) 2023. 3. 8

(2) FAIスポーツ・ライセンス (2022年1月1日～12月31日)

種 目	F A I スポーツ・ライセンス発行			有効登録者数 (12月31日現在)
	新規発行	更 新	合 計	
熱 気 球	6	1 4	2 0	7 7
人 力 飛 行 機	0	0	0	0
滑 空 機	2	3	5	4 3
模 型 航 空 機	4	1 4	1 8	1 0 7
パラシュージング	2	0	2	7
ハング・パラグライダー	1 5	4 3	5 8	2 7 6
超 軽 量 動 力 機 パラモーター	1	0	1	5
飛 行 機	0	1	1	4
その他 (Rotor craft)	0	0	0	0
合 計	3 0	7 5	1 0 5	5 1 9

(3) 資格証の発行数 (2022年1月1日～12月31日)

1) 滑空機

種 目	種 目	件 数
1. 国際滑空記章	銀 章 (※認定証のみ)	3 (0)
	金 章 (※認定証のみ)	1 (0)

※（ ）内は、内数 平成22年4月1日より、認定証書のみ発行し、バッジは申請者の選択性とした。	ダイヤモンド距離章 ダイヤモンド高度章 ダイヤモンド目的地章 3ダイヤモンド章 750km章（※認定証のみ） 1,000km以上章	1 1 1 1 0(0) 0
2. 飛行成績証明書 ※記章発行（単一科目達成時及び複数科目の最終項目達成時）を除く。	滞 空 5時間 (5H) 距 離 50km (5K) 高 度 1,000m (1M) 距 離 300km (3K) 高 度 3,000m (3M) 目的地 300km (3D) 高 度 5,000m (5M) 距 離 500km (5D) 距 離 750km (7D) 距 離 1,000km (10D) 距 離 1,500km (15D)	13 4 9 0 2 1 1 1 0 0 0

2) 模型航空機

種 目	種 目	件 数
1. 技能証 ラジオコントロールヘリコプター	A級 B級 C級 D級 E級	0 0 3 4 0
コントロールライン曲技	A級 B級 C級 D級	12 14 12 7

3) パラシュージング

種 目	種 目	件 数
1. 落下傘降下士技能証	A技能証 B技能証 C技能証（銀） D技能証（金）	0 0 0 0
2. 国際パラシュージング技能証	A技能証 B技能証 C技能証 D技能証	0 0 0 0

別表 5

主催・後援事業

(1) 主催事業

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム	2022. 11. 23	長野県山形村 農業者トレーニングセンター	28名
こども模型飛行機教室 (全国11箇所、参加者数300名) *参加者数は子供のみ	2022. 08. 20 ～21	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	68名
	2022. 09. 10	北海道雨竜郡 雨竜町公民館およびグランド	18名
	2022. 10. 27	埼玉県桶川市 ホンダエアポート	32名
	2022. 11. 22	高知県高知市十津小学校	52名
	2022. 11. 23	長野県山形村 農業者トレーニングセンター	8名
	2022. 11. 27	神奈川県鎌倉市 マナビノキ教室	18名
	2022. 12. 06	高知市立第六小学校	36名
	2022. 12. 17	東京都目黒区 中目黒小学校	14名
	2023. 02. 04	東京都目黒区 鷹番小学校	23名
	2023. 03. 05	東京都葛飾区 幸田小学校	10名
	2023. 03. 12	高知県高知市 高知ラジコンクラブ飛行場	21名

(2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
東日本大震災支援熱気球イベント 第33回「空を見上げて」IN東京	2022. 08. 20 ～21	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	気球搭乗563名 模型教室68名
第27回スカイスports シンポジウム	2022. 12. 03	オンライン(配信：航空会館)	115名

(3) 後援事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
第44回 鳥人間コンテスト 選手権大会2022	2022. 07. 22 ～24	滋賀県彦根市 松原水泳場周辺	滑空機15機 人力プロペラ 有観客
第47回二宮忠八翁飛行大会	2022. 04. 29 悪天候のため中止	愛媛県八幡浜市 八幡浜市民スポーツパーク	—

(4) 協力事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
野田空まつり2022	2022. 11. 20	千葉県野田市	80名程度

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 令和4年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齢賞

＜長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞＞

みうら こうりょう 三浦 公亮 氏 (92歳)	電波天文観測衛星「はるか」の大型宇宙展開アンテナの設計を通して スペースVLBIの実現に大きく貢献されました。三浦氏の考案した「ミ ウラ折り」は世界が注目するORIGAMI工学の端緒となりました。 〔東京大学名誉教授 推薦：(一社) 日本航空宇宙学会〕
みやさか こうぞう 宮坂 弘三 氏 (90歳)	日台路線を復航させ、その後長きにわたり同路線の発展に尽力されま した。また日台文化交流活動の推進においても多大な貢献をされまし た。 〔元日本アジア航空株式会社社長 推薦：日本航空(株)〕

(2) 航空文化賞

＜航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が
贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞＞
本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

＜航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞＞

きない しげき 木内 重基 氏 (68歳)	複合材技術をジェットエンジンに応用するための研究開発とその事業 化を主導し、わが国独自技術による宇宙開発とその事業発展に寄与さ れるとともに関連各種団体の要職を歴任し、航空宇宙産業の発展に多 大な貢献をされました。 〔元株式会社IHIエアロスペース社長 推薦：(一社) 日本航空宇宙工業会〕
------------------------------------	--

さとう のぶひろ 佐藤 信博 氏 (71歳)	長年にわたり民間航空会社において航空機整備の分野を中心に活躍され、整備部門の責任者および安全統括管理者として、また公益団体の会長として安全運航と安全文化の醸成に携わり、わが国の航空界の発展に顕著な貢献をされました。 〔元日本航空株式会社副社長 推薦：日本航空(株)〕
ながの ひさし 永野 尚 氏 (67歳)	長年にわたって民間航空機の国際共同開発事業におけるわが国全体の量産体制構築に主導的な役割を担い、航空宇宙産業分野の団体役員としての活動、無人航空機技術の進歩への貢献を通して、わが国航空機産業の一層の発展に多大な貢献をされました。 〔元富士重工業株式会社専務執行役員 航空宇宙カンパニープレジデント 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕
ほあし こうじ 帆足 孝治 氏 (84歳)	長年にわたって航空ジャーナリストとして航空産業の取材報道に活躍され、出版と著述活動、そして航空絵画家としての活動において航空宇宙に関する有益な文化活動を行い、航空宇宙界の発展に顕著な貢献をされました。 〔元イカロス出版株式会社社長 推薦：航空ジャーナリスト協会〕
まとかわ やすのり 的川 泰宣 氏 (80歳)	長年にわたってわが国のロケット開発・科学衛星の発展に貢献されるとともに、航空宇宙に関する教育・普及活動に尽力され、多くの著書や講演会を通じて若い世代を中心に大きな夢を与え「宇宙教育の父」と称されました。 〔宇宙航空研究開発機構名誉教授・はまぎん こども宇宙科学館館長 推薦：表彰委員会事務局〕
もりもと みつお 森本 光雄 氏 (75歳)	長年にわたって民間航空会社において卓越した操縦技倆を発揮し、運航部門の責任者および安全統括管理者の職責を遂行され、またヒューマンエラーにかかわる非懲罰の航空安全情報自発報告制度を導入して航空界の発展に顕著な貢献をされました。 〔元全日本空輸株式会社副社長 推薦：全日本空輸(株)〕

(4) 航空特別賞

＜航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞＞

電子航法研究所 航空交通データサイエンス推進チーム	航空交通データの収集・整備・提供において、わが国における航空交通管理分野の研究開発の発展に寄与されるとともに、航空宇宙技術の向上ならびに調査研究の発展に多大な貢献をされました。 〔推薦：(一社)日本航空宇宙学会〕
----------------------------------	---

(5) 空の夢賞

＜航空宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をしたとして

日本航空協会表彰に値する者またはグループに、航空宇宙諸般の進歩発展に寄与するチャレンジを応援する意味合いを含めて贈る賞＞

JAXA宇宙科学研究所 太陽系科学研究所助教 はるやま じゅんいち 春山 純 一	月の縦孔・地下空洞の発見という世界の宇宙開発における比類なき功業を成し遂げ、その成果を一般に伝える活動を通して航空宇宙に対する夢や希望を広く社会に与えました。 〔推薦：表彰委員会事務局〕
--	--

福井県立小浜水産高等学校 若狭高等学校 歴代サバ缶開発研究チーム	宇宙日本食の認証を取得し、高校生がつくったサバ醤油味付け缶詰が国際宇宙ステーションで提供される快挙を達成、さらに地域活性化を志してその一般向け商品を開発し、航空宇宙に対する夢や希望を広く社会に与えました。 [推薦：表彰委員会事務局]
---	---

(6) 航空スポーツ賞

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立し、又は同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞＞
 該当者なし

※年齢は受賞時年齢

2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

(1) ポール ティサンディエ ディプロマ (The Paul Tissandier Diploma)

＜FAIの事務局長を務めたポール・ティサンディエ氏に因んで制定された賞で、航空一般、特に航空スポーツ発展のために献身的努力を傾注し、団体組織等で指導的役割を果たし、その業績が顕著である個人に授与される賞＞

ごとう のりひろ 後藤 昇弘 氏 (78歳)	1988年より九州大学航空部部長や公益財団法人日本学生航空連盟会長の要職を務められ、練習機材や滑空場の環境整備、競技会開催などに尽力されました。また、2016年に公益社団法人日本滑空協会の会長に就任し、グライダーの統括団体としての体制構築や運営の効率化と財務の健全化、また、運輸安全委員会委員長の経験を活かして安全対策活動を主導するなど、日本グライダー界の発展に貢献されました。 推薦：(公社) 日本滑空協会
-------------------------------------	---

(2) FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

＜航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞＞

はしもと せいいち 橋本 精一 氏 (59歳)	2012年から2017年まで一般社団法人日本気球連盟理事を務められ、また、2016年よりとなみ野熱気球会会長、2017年よりチューリップバルーン大会実行委員長を務められました。特に30年間にわたり熱気球を用いた子供たちの更生保護活動や佐賀国際バルーンフェスタのオフィシャル気球参画を通じて熱気球の普及活動に貢献されました。1998年より日本気球連盟インストラクターやイグザミネーターとして後進の育成にも尽力されました。 推薦：(一社) 日本気球連盟
ふかだ ひろし 深田 浩 氏 (76歳)	2011年より公益財団法人日本学生航空連盟の理事、事務局長を務められ、円滑で健全な財政運営や競技会の開催、指定航空従事者養成施設の運営を指導されました。特に公益社団法人日本滑空協会安全委員会に参画し、航空安全情報自発報告制度を活用した安全対策を講じるなど、グライダーの安全向上に貢献されました。1969年より教官やコーチとして後進の育成にも尽力されました。 推薦：(公社) 日本滑空協会
とくち まさみつ 渡久地 政光 氏 (80歳)	2002年から10年間に渡り日本模型航空連盟事務局長を務められ、会員管理システムならびにホームページの構築に尽力されました。特に2003年よりこども模型飛行機教室の設立と運営、オリジナル機体の開発、講師として後進の育成など、模型航空の普及振興に貢献されました。 推薦：日本模型航空連盟

※ 年齢は受賞時年齢